

庁議の概要

開催日 平成20年4月28日（月）

◎項 目

- 1 「対話と実行」座談会について【政策企画部】
- 2 重要要望時の状況について【政策企画部】
- 3 その他

◎内 容

1 「対話と実行」座談会について【政策企画部】

政策企画部より資料を配布のうえ概要説明があり、意見交換を行った。

【説明概要】

- ・ 4月19日に土佐市において、農業、漁業、福祉などさまざまな分野で活動されている14名の地域の方々と座談会を開催した。
- ・ この取り組みは地域の方々と対話を通じて地域の声を庁内で共有し県政に反映させる、といった趣旨である。いただいた意見等は聞きっぱなしにせず、スピード感を持って地域に返していく。
- ・ 5月11日に佐川町、13日に安芸市と芸西村、6月には南国市と、順次進めていく。
- ・ すべてとはならないかもしれないが、適宜とりまとめて庁議等で報告をしていく。地域で出た声は該当部局に伝えていくので、できるだけ早く政策企画部に返してもらいたい。

【主な意見】

- ・ 土佐市での声に対する政策企画部への回答期限は、
→ 5月8日までとしている。
- ・ 声に対する返答はどこに返すのか。
→ 当日の出席者と該当市町村に返していく。
- ・ 参加者は市井の人か、各界の代表者か。
→ 範囲は各界にわたるが市井の人である。
- ・ （これとは別に）先日も香美市で市議会議員や市幹部と意見交換をした。農商工連携の必要性などの声が出たが、これから我々がやっけていこうとしている方向性が間違っていないことが確認できた。（知事）
- ・ 要望の類はむしろ少なかった。せつかくの声を“たった一人の声”として矮小化するのではなく、あえて人前で発言している以上、地域の実情を踏まえた声であるというつもりで対応してもらいたい。（知事）

2 重要要望時の状況について【政策企画部】

配布資料により東京事務所から概要説明があり、意見交換を行った。

【説明概要】

- ・ 以前と比較して1ヶ月以上早い対応となっている。来年度予算の概算要求に向けてこれから国の政策議論が本格化することを睨んでの要望、提案活動である。

- ・ 単なる要望ではなく、要望に至った背景として高知県が置かれている現状について理解を求めた。次のステップにつながるようなヒントやアドバイスももらうことができた。
- ・ 説明に用いた資料も高い評価を得ることができた。

【主な意見】

- ・ 総務省など地方の実情を一定理解している省庁もあれば、あまり理解できていない省庁もある。
- ・ 財政の厳しさを訴えるとき、県職員の年齢構成の図も見せながら説明すると相手に関心を示していた。(知事)
- ・ 厚労省も企画立案段階から地方の声を反映させていく意向を示してくれた。知事会等も通じて、こうした場に本県が加わっていけるような根気のある働きかけが重要。(知事)
- ・ 全般的には、こちらから言いつ放しでなく、省庁側からも意見を出してもらって議論ができたのがよかった。後は引き続きフォローアップをしていかなければいけない。(知事)

3 その他

いの町内で発生した国道194号線の崩壊事故の概略について土木部から説明があった。また、香南市での硫化水素発生事件について、意見交換を行った。

【主な意見】(香南市の事件に関して)

- ・ 警察、消防や市町村などとの連携について検証をする必要がある。あまり前例がない事件ということもあり、現場がかなり混乱していた様子。
- ・ 現地対策本部みたいなものを立ち上げ、しっかりした指揮系統が現場で執られることが重要。(副知事)